

調節機能

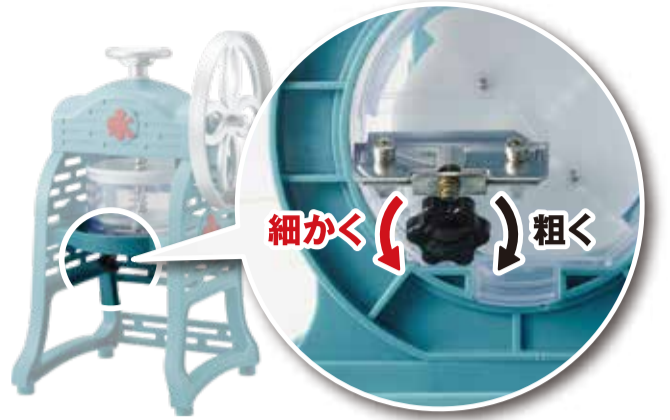
刃の高さ調節ネジ

氷の状態に合わせて刃の高さを自分で調節することで氷の粗さを変えることができます。ふわふわのかき氷をお楽しみいただけます。

①氷ケース裏側にある、刃の高さ調節ネジを、本体の下から見上げる様に見て反時計回り【細かく】の方向に止まるまで回してください。
(刃が一番低い状態になり氷は削れない場合があります。)

②氷を入れて氷を削りながら調節ネジをゆっくりと時計回り【粗く】に回してください。
氷が削れ出したら好みの粗さでネジの調節を止めてそのまま削ってください。
氷の状態により一番「細かく」設定(最後まで回した状態)でも削れる場合がございますが、不良ではございません。

※一定の位置では削れない場合があります。
※氷の状態により削り具合は変化しますので、必要に応じてこまめに調節を行ってください。
※調整ネジを強く回しすぎると回らなくなる場合があります。



氷ケースの裏側(下から見た)イメージ

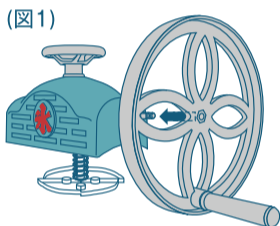
注 意	◆ 刃を調節する際は、十分に注意してください。
	◆ 刃を低くしすぎると氷が削れなくなる場合があります。
	◆ 水氷と味氷とでは、削り具合が異なります。

刃の調節は必ず保護者の方が行ってください。

ご使用方法

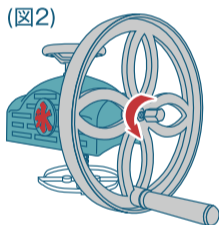
1.

本体右側から出ているシャフトの形状に合わせてハンドルを差し込みます。(図1)



奥まで差し込まれていることを確認し、(図2)のように矢印方向にナットを回しハンドルを締め付けてください。

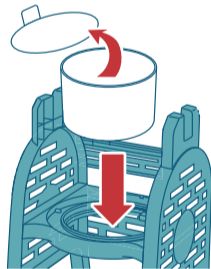
※このときナットはゆるみのないよう締め付けてください。



2.

氷ケースから刃カバーをはずして、スタンドにセットしてください。

※このとき刃には十分注意してください。
※水で洗ってからご使用ください。
※調節ネジが手前になるようにしてください。

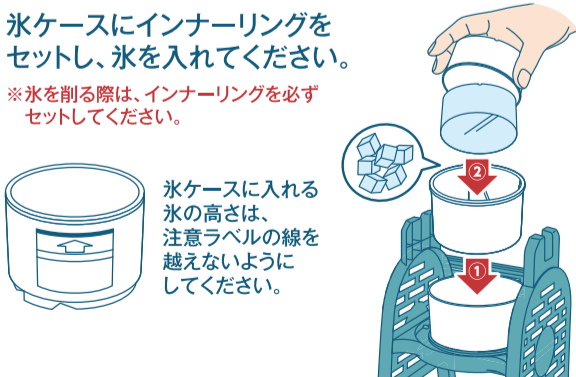


3.

氷ケースにインナーリングをセットし、氷を入れてください。

※氷を削る際は、インナーリングを必ずセットしてください。

氷ケースに入れる氷の高さは、注意ラベルの線を越えないようにしてください。



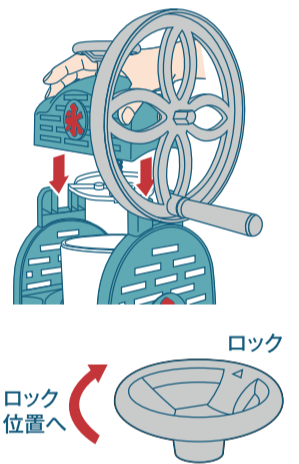
4.

本体をスタンドに差し込み、ロックハンドルがロックの位置にあることを確認してください。

※このとき氷を入れすぎるとスムーズにロックすることができません。(3.参照)

ご注意:

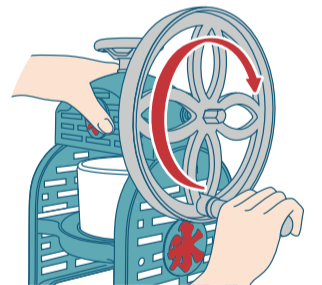
- 持ち運ぶときはスタンドごと持ち運んでください。
- ロックが解除された状態で本体をセットしてください。ロックが解除されていない状態で無理にセットすると故障の原因になります。
- 本体を氷ケースにセットするときは無理に押し込まないでください。抜けなくなる場合があります。
- ロックハンドルを持ちながら押し込まないようにしてください。
- ロックハンドルを強く回しすぎると破損の原因になります。



5.

器を置いたら、ハンドルを回し氷を削ります。右図のように矢印の方向(手前から奥)へハンドルを回してください。

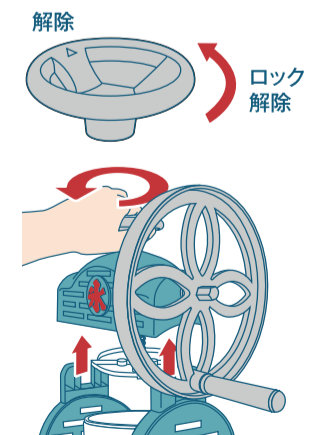
※このとき反対方向に回さないでください。ナットがゆるむ原因になります。



6.

ロックハンドルを解除の位置に合わせて、ロックハンドルを持ちながら本体を真上にスタンドからはずします。

※ロックハンドルを強く回しすぎると破損の原因になります。



注 意	◆ ハンドルを握る手と逆の手は、必ず本体を押さえてください。
	◆ ハンドルが回らない、または引っかかるような場合は無理にハンドルを回そうとせず、一度本体をはずしていただき氷の量を調節してみてください。